

図書館利用者と関町図書館長との懇談会

- 1 日時 平成 30 年 11 月 4 日（土） 14 時～15 時 30 分
- 2 場所 関町図書館 2 階 視聴覚室
- 3 参加者 利用者 10 名
図書館 2 名（関町図書館長、関町図書館館長代理）
- 4 テーマ 「関町図書館に期待するサービスとは」
- 5 配付資料 (1) 練馬区立図書館ビジョン（概要版）
(2) 平成 29 年度 練馬区立関町図書館の運営方針からみた実績
(3) 平成 29 年度 練馬区立関町図書館事業
(4) 平成 30 年度 児童定例事業予定
(5) 児童定例行事 11 月
(6) 児童定例行事 12 月
- 6 次第 (1) 関町図書館長挨拶
(2) 図書館職員紹介
(3) 平成 29 年度、30 年度前半 事業概要説明
(4) 懇談
(5) 閉会の挨拶

図書館利用者と関町図書館長との懇談会 会議録

1 関町図書館長挨拶

皆さま、お忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。わたくし、館長の相川と申します。どうぞよろしくお願いいたします。本日は懇談会の間、ざつくばらんに皆さまでお話いただければと思います。すみませんが座ったまま発言させていただきます。

「関町図書館 図書館利用者と館長との懇談会」にご参加いただきましてありがとうございます。関町図書館は昭和57年9月に開館いたしまして、今年で36周年にあたります。平成28年に大規模な改修工事をいたしまして、昨年4月にリニューアルした新しい施設と

して、ご利用いただける施設となっております。こういった背景から授乳室、グループ学習室、座席管理席、書籍消毒機、デジタルサイネージなど、最新の設備を入れております。

また、昨年4月から、運営体制も指定管理者制度を導入いたしまして、わたくし以下職員は全て民間企業の者が入っております。株式会社図書館流通センターという会社の者です。よろしくお願いいたします。

今回は、「関町図書館に期待するサービスとは」というテーマで、懇談会を行いたいと思っております。館独自で答えられないような図書館システムに関するお問い合わせ、図書館全体のサービスに関わることなどはお答えできない場合があります。そういった際には、ご意見を承りまして、練馬区立図書館全体を統括しています光が丘図書館と相談させていただき、調整の上、後日、ホームページにて回答をさせていただきたいと思っております。ご了承ください。

2 図書館職員紹介

関町図書館長、関町図書館館長代理

3 図書館概要説明

- (1) 平成29年度 練馬区立関町図書館の運営方針からみた実績の説明
- (2) 平成29年度、30年度前半 事業概要説明
- (3) その他 図書館の主な取組み

4 懇談会

利用者 配布資料(2)のデジタルサイネージ設置と新しい形のサービスの具体例、
どういったものが新しいのかを語ってほしいです。

図書館 デジタルサイネージという耳慣れない言葉になるかと思いますが、入口入り
ましてすぐにある液晶のディスプレイになっております。

利用者 左側の。

図書館 入って正面の少し右側になるかと思うのですが、画像がエンドレスで
表示されているものがデジタルサイネージとなっております。そちらから図
書館からのお知らせですとか、練馬区からの情報を発信させていただいてお
ります。配信する情報につきましては、図書館で編集できるようになってお

ります。機能的には、様々な機能がありますので、今後は、展示など色々な形のサービスを行っていければと思います。

利用者 どういう形が可能なんですか。機能的というか。

図書館 想像しやすい例として、適切がどうかは分かりませんが、駅に設置されている液晶の画面と同じものと思っていただければと思います。主には情報の発信がメインになるかとは思いますが、画面の分割ですとか、表示が自由に編集できるようになっております。デジタルサイネージの隣が展示スペースになっておりますので、使い方によっては様々なサービスができるかと思っています。これでお答えになっておりますか。

利用者 新しい形のサービスというのは。

図書館 私共の考え方として、新しい形のサービスを探求させていただこうと思っております。

利用者 具体例みたいのはあるんですか。

図書館 昨年度の実績から説明させていただきますと、例えば児童の支援のところで、「テラスでおはなし会」、青少年の支援のところで、「図書館で遊ぼうボードゲームの日」、特集展示で「暗やみ本屋ハックツ」と3点ほどあるかと思っています。「暗やみ本屋ハックツ」というのは、近隣で活動されている団体とコラボレーションをするような形で行わせていただいた事業になるのですが、趣旨としましては、社会人が10代のころに読みたかった、あるいは10代に紹介したい本を、子供に向けて紹介する、本を手にとってもらうということを趣旨に行っている事業です。暗やみ本屋ハックツさん自体は、元々は本屋さんを間借りするような形で活動をされていまして、寄贈で大人からいただいた本を100円で、100円というのは、敷居的に設けさせていただいているもので、10代限定で参加できる企画として、暗やみの中で懐中電灯を持って本を見てまわって、いいなと思った本を買ってもらおうというようなことをされていた団体です。図書館で同じような企画をさせていただきまして、図書館でするので、100円で販売というわけではなく、図書館の中にある所蔵資料の中から近隣の方ですとか、利用者さん、図書館関係の方にアンケートを募りまして、オススメの本を募集しまして、暗やみの中に本を設置させていただいて、10代の方に参加していただき、本と出会っていただくというような企画をさ

せていただいております。

この他、この館独自というわけではありませんが、公共図書館でボードゲームの企画をさせていただきまして、青少年事業とうたってはいるのですが、老若男女、様々な方に参加していただきまして、図書館のスペースでボードゲームで遊んでいただく会を開催しております。本を読もう、あるいは調べようという欲求のところで考えますと、ゲームに参加したことで、色々とわいた興味が、そのまま調べもの、それから読書に繋がるように、こちらでも意識した会としております。図書館に集まっていただき、遊んでいただき、そのまま図書館を使つていただくというような事業となっております。これは行ってみて思ったところですが、世代間を越えた交流の場になり、新しい図書館の使い方に繋がるのではないかと感じております。

この他、「テラスでおはなし会」は、通常のおはなし会ではなく、気分を変えて外でおはなし会に参加していただくという企画です。他でも見聞きしているものもありますが、こういった形で一風変わった、一般的に図書館で行っている事業以外に新しく、色々なことを実践し、活気ある図書館をということで企画させていただいております。

利用者 確認しておきたいことがひとつあります。去年の利用者アンケートの回答のひとつに外国人の利用も増え、光が丘のケースですね、図書館利用者のマナーが年々悪くなってきているっていう意見があったんですよ。それでその下に色々と細々と、マナーの悪さをずらずらと並べているんですけど、それは皆、日本人がやるようなことばかりなんですよ。それで色々な人に聞いたけど、職員なんかに聞いたんですけど、そういうことは実感として感じてないっていうんですが、関町の図書館でそういう日々、職務しておられて、そういう実感というのがありますでしょうか。増えている事例っていうかね。

図書館 関町図書館は私共が運営を始めて、1年半になります。経年的に増えているという実感というのはお答えにくいところではありますが、マナーについては、色々な方がいらっしゃいますので、こちらで、サービスの趣旨を説明させていただいて、納得いただくということで行っています。

利用者 それが、外国人というカテゴリーで属性を付けて語られるってことが問題なんですよ。殊更に。本当に外国人のそういう悪いマナーの増加っていうの

があるのか、増加じゃなくていい。ここの場合は、そういう事例がね、ひとつでもあるのかどうか。言葉が通じないとかそういうことじゃないですよ。トラブルになったとかね。声がうるさいとか、騒ぐとかね。そういうことが全て外国人ということで、カテゴリーに括られるものがあるのかどうかというのを確認しておきたいということなんですよ。

図書館 当館につきましては、そういう実感や実績はございません。

利用者 分かりました。それともうひとつ。駐車場ありますよね。昔、真ん中にポールがあって街灯が立っていたんですけど、今は下から照らすようになっちゃって、ものすごい暗いんですよ。下の方はそんなに明るなくて、夜行くと全然暗いんですよ。ポールを立てなくても、今は監視カメラが付いていますよね、壁のところに。ああいうような形で、職員の窓のところか何かに付けられるような、投光型のライトを付けてもらえませんか。まあ、ここで言うてもしょうがないんですけど、上に挙げてもらって。

図書館 まず、どういった経緯で下からのライトになったかというところも含めて持ち帰って確認させていただきます。

利用者 悪く言えば、洒落るつもりだったと思うんですよ。洒落た感じを出そうっていう。それはちょっと暗くなっちゃって、足元が不案内なんですよ、老人なんか特にそうだと思うんだけど。だから、足に躓いたりね、する可能性も無きにしもあらずだから。それを確認しておいてください。

図書館 状況を確認して、光が丘図書館とも相談させていただきます。ご意見として承りました。

利用者 データベースの件でお願いがあるんですけど、プリンターありますよね、脇に。あのプリンターの印刷をするときに、外気にファンが回って、なるじゃないですか。あれが直に操作者のところに風が飛んできて、においが凄いんですよ。頭が痛くなるほどなんですよ。連続ですると。だから、それをプリンターの向きをちょっと変えて、排出物を違う方に向けてくれませんか。

図書館 状況を確認した上で、検討させていただきます。

利用者 向きを変えればいいと思うんですよ。

図書館 寸法の問題と配線の問題とあるかと思うしますので、確認した上で、検討させていただきます。

利用者 多分、平気です。あそこと変わらず新聞読み場ね。新聞の閲覧席のところに荷物置き場がないんですよ。荷物置くところが。だから、ちょっと数冊借りて置こうとしても荷物の置き場がなくて困っちゃうんですよ。だから、普通下にあるじゃないですか。こう、板やって。ああいうのをちょっとやってくれませんか。日曜大工的にああいうのできるから。

図書館 確認ですけれども、新聞の閲覧用のななめになっている机ですか。

利用者 そうそう。ななめに下にも全然置き場がないし。

図書館 状況を確認して検討させていただきます。

利用者 データベース席にも置き場がないし。それでもう一つ言ったのは、左にあるパソコンありますよね、モニターがあって。それを裏側にまわせば、ここが空くから、荷物置き場になるんですよ。左側が。パソコンをちょっと後ろに置けば充分スペースがありますので。

図書館 レイアウト的なところは、こちらに一任していただければと思います。

利用者 そこをご検討お願いします。あとでまたありますけど、他の方あれば。

図書館 皆さんにもご意見をいただきたいところですので、よろしくお願いします。

利用者 ユーザーとしてですね、お話をお聞かせ願えればと思うんですけども。わたしの認識不足でしたら訂正してほしいんですけども、新刊本を借りるときに、話題の本なんかがありますよね。そこに入るんですけども、借りようと思うと全部予約済みになっちゃって置いてないんですよ。それでしょうがないから予約すると、もう何十人も予約して1か月2か月3か月待ちという状態がよくあるんですね。例えばですけども、話題の本はちょっと読みたいものですから、本屋さんで立ち読みすればいいんですけども、図書館があるんですから、そこでチラチラと読みたいなっていう気持ちでここに来ると無いと。これを何とか解消できないかと。雑誌が1か月間貸出できませんよね、次号が出るまで。そういう意味でも1冊くらいはちょっと置いておいてもらって、1か月くらいね。閲覧用だけして置いておいてもらって、貸出は1か月間はできないとか、そういうルールを何か作っていただけると、非常に僕としては助かるのが実感なんですよね。隣の武蔵野市もそうなんです。行くとやっぱり無いんですよ。せっかく広告なんかで見て、この本が出たらちょっと見てみようかと思っていくと、確かに入荷はしているんですけど、

手元にないと、というのは、何とか解消できないかっていうのを。これは事実なんですか実際。僕の認識不足ですか。

図書館 新刊を置かせていただいている棚はありまして、そこに本が全くないかという、あるにはあります。ただ、人気のある本になりますと、実際にその棚に置かれる前に何十人何百人という方が予約されているというのが事実でございます。

利用者 1冊くらいは1か月か2か月くらい置いてもらって、閲覧用だけにしておいてね、貸出禁止にしてもらえると、ちょっとそこで立ち読みできるかなっていうのが、僕のユーザーとしての希望なんですけどね。不可能であればしょうがないですけども、ご検討いただければと思います。

図書館 こちらにつきましては、当館だけで決められるルールではないので、光が丘図書館にご意見として伝えます。

利用者 他の図書館も同じだから、何か理由があるのかもしれないですけども。とくに話題の本とかは、何百人という予約が入りますでしょう。そうすると、1年くらい入ってこないんですよ。そしたら、買ったほうが早くなっちゃうんで、その辺を解消する方法をですね、お考えいただければと思います。

もう一つなんですけれども、僕は本が好きなものですので、本を選ぶときに、新聞の書評を参考にするんですね。毎週日曜日には各新聞に書評が出るんですけれども、書評を見て、この本は面白そうだなと思って図書館に行くのが大変なんです。検索すればいいんでしょうけども。できればですね、書評コーナーみたいなのを設けていただいて、今、本屋さんでもそういうコーナーがありますけど、今週の朝日新聞に載った本ですみたいなね、並んで置いてもらえると、すごく選びやすいし助かるかなというに思うんですね。まあ、手間隙はかかるだろうけども、そういうようなことをやっていただけると、ユーザーとして、非常に助かるなということで、お話をさせていただきました。

図書館 書評のコーナーにつきましては、実際に行ってみるとどういった形になるのかなど、検討しなければいけないことが多々出てくると思います。ご意見としてはごもっともなところがあると思いますので、検討させていただきます。

利用者 はじめのご意見の、雑誌は2週間になってますでしょう、新刊本は1週間に

するとか、それは一つの案ですけど。1週間で早くまわすより、たしかに私も結構話題の本だと思って行くと、えって思うくらい待ち人数が多いですね、千人とかね。だから、何で今頃くるのっていうのが、6か月後なんかでね、もうあんまりこれ、ほとぼりが冷めたというか、もうそういう時に来ましてよって言われても、まあ、3か月は待たなければいけないんでしょうけれど、出来れば、1週間くらいでまわしてもらおうと、もうちょっと早くまわるのか、いや違うのかもしれませんが、今ちょっと思いました。

利用者 その件で、ちょっと言っちゃいますけど、年末にシステムが更新するのに向けてね、ちょっと要望を出そうと思っているんですけど、予約数に応じて、1週間、2週間、3週間くらいに区分けして回転を早くさせろって提案しようと思っています。予約数が多いのを1週間でまわせば、かなり回転数でまわるはずですのでね。そういう提案しようと思っていますので。

図書館 先ほどの意見と合せて、こちらのほうから上げさせていただきます。練馬区立図書館の全体のルールに関わってきてしまうので、この場ではお答えできないのですが、ご意見としては、ごもっともな部分も含めて多々あるかと思いますので、今回の会議が終わったあとに、光が丘図書館のほうにこういった意見がありましたということでまとめて伝えたいと思います。ありがとうございます。

利用者 別に借りなくてもいいから、閲覧だけにしてもらえれば、その雰囲気分かるしね。読みたければ、買ってもいいしっていうことなんで、ちょっと置いておいてほしいかなっていうのが希望なんですよ。別に買いたいってことじゃなくてね。ちょっと見てみたいっていうのが、希望なんでね。そこをちょっとお考えいただければ。

利用者 期間を限定してもいいんじゃないですか。著者から文句が出ているじゃないですか。何か月か貸すとかね。そういう意味合いを持ってそこに置いておくっていうような。

図書館 様々な意見は出ておりますが、こちらにつきましても図書館協会の見解、練馬区立図書館の見解等ございますので、その辺りも整理した上で、対応も含めて、光が丘図書館から回答させていただきます。何かしら良いサービスが出来ればと思いますので、ご意見として伺いました。ありがとうございます。

利用者 図書館で新書を選ぶ基準ってというのは、蔵書をどのくらいにしようかっていうのは、こういった基準で決めていくのですか。

図書館 練馬区立図書館としての選定基準というものがございまして、そちらに則り、毎週、会議という形で複数の職員が会議の場で選ばせていただくという形をとっております。蔵書の冊数につきましては、各図書館ごとに棚の数が限られておりまして、収蔵冊数も限られておりますので、そちらの範囲内ということになっております。ですので、当館につきましては、昨年リニューアルオープンしまして、まだ棚に余裕がございますので、蔵書を増やすことはできるのですが、年数が経っている図書館になると、蔵書がいっぱいになっていますと、入れる本と廃棄する本がほぼ釣り合わないと、書架がいっぱいになってしまうという状況になっています。収集の基準、廃棄の基準については、練馬区立図書館で設定されているものに則って行っています。

利用者 最初に職員が集まるってというのは、指定管理者の職員ですよ。

図書館 練馬区立図書館の仕組みとしては、指定管理館の場合は、指定管理館の職員が集まり選定させていただき、そちらで集まったものを光が丘図書館で2度目の審査がありまして、2段階になっている形です。

利用者 それは同じ会社ってことですか。

図書館 指定管理館については、1次的な選書を各図書館で行いまして、それを光が丘図書館が2次選定という形で最終的に確定する選定をしています。2段階になっております。

利用者 それは、両者のかたが参加するということですか。

利用者 光が丘の場合は区の職員ですよ。だから行政ですよ。

利用者 ふーん、知らなかったわね。光が丘だけなんですか。

利用者 光が丘が全ての指定管理館を統括しているんですよ。指定管理館から上がってくるのを光が丘が全体的に見て、調整しているんじゃないですか。

図書館 その通りでございます。2段階になっておりまして、1段階目は各図書館で選定しまして、その選定結果を統括館にリストという形で送りまして、それを2次審査という形で2次的な会議を行いまして、2段階の選定が済んだものが最終的に確定という形になるという仕組みになっております。

利用者 審査基準というのは、色々なことが決まっているのですか。例えば、ヘイト

スピーチじゃないけど、そういうかなり。

図書館 様々という、それぞれのかたでイメージするものが違ってくると思うのですが、冊子のような形でございます。世の中に存在する本というのは、色々な分野がありますので、各分野ごとに気をつけることが沢山あります。それぞれの分野ごとにどういったことを基準にしましょうということで設定されております。

利用者 ちょっと辛らつなことを聞きますけど、TRCのほうで選書ツールがありますよね。独自にやっている選書の。選書をやりたくなければ、その任せられるというような。そういったツールはそちらは使っているんですか。

図書館 どちらの仕組みのことを言っておられるのか分からないのですけれども。

利用者 会社自体で選書の部門があるんですよ。有名人みたいのが選書して、どうですかっていう提案みたいなね。それを使っているかどうか。

図書館 言われているのは、選書を行うための資料のような冊子が毎週出るんですけれども、そのことですか。

利用者 新刊全点案内、あれは、選書じゃなくて新刊が出たっていう広報雑誌じゃないですか。じゃなくて、選書をこういう選書をしたらどうですかっていう推薦みたいなをやっている部門があるんですよ。

図書館 ベルのことですか。

利用者 今ベルって言いました。それだと思います。そういうツールを使ってやっているのかどうか。

図書館 そちらは使っていないです。

利用者 会社の内部のあれだから、そういうのを参照しているのかなと思って。

図書館 会社のお話になってしまうのですけれども、選書の仕方ですとか、本を選ぶですとか、廃棄するですとか、様々な図書館のルールがございますけれども、図書館、自治体にそれぞれ考えがございますので、そういったものは、TRC、図書館流通センターの英語の略になるんですけれども、弊社のほうで指定管理を承る段階で、細かく相談させていただいたうえで、行っております。どういったものを採用するですとか、方針でいくというのは、練馬区と相談させていただいたうえで行っております。

利用者 選書する段階でね、職員のかたが日々接している中で、そういう利用者の需

要とかね、そういうのを見て選書を本当に、基本的にそこでやっているのかどうかというのをちょっと強調したかった訳ですよ。だから、そうじゃなくて、ツールを使ってパパッと選んで上に挙げてオーケーをもらっているのかどうかとかね。

図書館 こちらは、利用者さんを見て選書を行っております。

利用者 それを信用するってことで。

利用者 去年の懇談会でちらりと言ったことなんですけど、武蔵野市の機械を通す貸出カードがありますね、あの件はその後どうなったんでしょうか。武蔵野市は小型だから、小回りが利くからいいなっているんですけども、あれの一番の良いところは、自分がいつ期限がきて返さなくちゃならないということが、一目瞭然で分かるんですね。こちらの図書館では、栞を入れてくださるものですから、そのときそのときに借りるものですから、これがいつ借りたのかしらってふっと思って、期間が過ぎてしまっは申し訳ないなといいながら返すような場面も出てくる訳なので、その件については、まだまだ。

図書館 リライトカードのことにつきましては、昨年度の懇談会のときにご要望いただきましたまして、光が丘図書館にあげさせていただいております。システムが絡むということで、その時にはすぐ実現できるものではないというようなことで、回答があったかと思います。前回の正式な回答は今、手元に持っていないのですが、今のところでは、実現するという話は伺っておりません。要望としては、光が丘図書館に伝えていますので、新しいシステムを入れる際の検討の中には、

利用者 いや、仕様には入っていません。見ました。

図書館 新しいシステムを決める段階で要望があったものについては、全てについて検討まではされているはずです。しかし、実現するところでは、今のところないです。

利用者 そうすると皆さんの貸出期間が過ぎて、後で待っているかたのイライラも少なくなるのではないかと思うんですけど、ものによっては随分希望者が多くて、リクエストをしてもなかなか来ないっていうので、どうしてこんなに遅くなるのかしらと思うような、人数が多くなるばかりでなくて、期間が過ぎ

たことも知らずに借りているってかたも大分いらっしゃるんじゃないかと思
いましてね。

利用者 武蔵野市の場合は、期間が過ぎるとメールでくるんですよ。期間が過ぎた図
書がありますって。

利用者 武蔵野市はそうなんですか。

利用者 ここも来るでしょう。

利用者 この前も言ったか知りませんが、レシートに印字してもらえるサービスが
あるからそれを使えって言ったんですけど、あまりそれを口外すると皆がど
うのこうのってあまりいい顔しなかったんですけどね、光が丘のほうで。だ
から、そのサービスを使ってもらって、窓口で借りるときにちょっと印字し
てくださいって言えば借りているものは全てレシートみたいなのがもらえま
すから。もし、それがほしいなら。

利用者 葉みたいなのは、ひとつしかくれないので。

利用者 葉じゃないんですよ、レシートのようなちょっと大きめのあるんですよ。

利用者 今、あなたはこういったのを借りていますっていうのが分かると。

利用者 題名と返却日が書いてあるやつ。

利用者 すぐしてくれますよ。

図書館 この辺りは昨年度もあったご意見なんですけれども、カウンターで今借りて
いるリストが欲しい旨、言っていただけますとレシートなんですけれども、
そちらのほうに今、お借りになっている本を印字したものをお出しするサー
ビスはできます。

利用者 それは今、おっしゃられたから、この席にいらっしゃるかたは、よく分かる
かもしれませんが、一般のかたはよくそれをご存知ないかたがほとんどじ
やないでしょうか。

利用者 それなんですけど、光が丘に言いましたら、あまりそれを使われると困るよ
うなことだったんですよ。だから、あまり皆に周知させたくないっていう意
見でした。だけど、皆さんインターネットなどを使っていたりね、いま携帯
で、今度はシステムで携帯対応が進みますから、それで一発で借りているも
のが見られると思うんですよ。P Cだけでなくてね。だから、そうして、あ
まりP Cの機械に疎いようなかたはね、今のレシートを使うように勧めるよ

うにね、ちょっと今回のシステム更新のときにこうしたらどうですか。こういうサービスがあるんだっていうことをね。そうしたかたは是非使ってくださいっていう。別に減るもんじゃないし、紙の値段なんてたいしたものじゃないんですよ。あんなロールの。皆使うとは思わないですよ。自分でパソコンを持っていればアクセスしてやっちゃうしね。そっちのほうが早いから。いちいちそんなものをもらっているより。

図書館 今、お話いただいた携帯電話で確認できるかたと、そうでないかたの住み分のうえで、こういったサービスありますよという周知の仕方はあるかと思います。そういった形でこの場で出た提案として、伝えさせていただきます。

利用者 そちらは知っているか知らないですけど、レスポンスって言って、普通のPCと携帯もひとつの画面できちやうような画面になるから、それも簡単だと思うんですよ。使うほうにとっては。

図書館 はい。ありがとうございます。

利用者 いいですか。いくつかあるんですけどね。ひとつは、先ほどこの視聴覚室を有効に使っているらしいですけど、使わない場合は一般開放していますよね。その場合に一般開放がいつ何時からってのが分からないんですよ。ここに来てね、使っているから駄目だなんてのが。要は、パソコンなり何でもいいですから、そういう見られるようにですね、スケジュールをおたくのほうで入力してやると。私は毎回、電話していたんですよ、今日は使っているか。それをないように自宅で、ここにいなくても分かるようなシステムを考えていただきたいと。

図書館 実は、そういったご要望も最近いただいております、できることを検討している段階にあります。

利用者 以前はね、入って左側の掲示板に一覧表みたいなのがあって、その月の。使えない日はバツとかね、使える日はマルとか掲示物があつたんですよ。

利用者 ただね、掲示板だとね、ここへ来ないといけないから、それは意味ないからね、やっぱり情報通信で、情報発信してホームページなりやっていただきたいと。入力は大変だと思うけど、一旦プログラムを作ればいいと思いますけどね。

図書館 ホームページに関しましては、統括館のほうで一括管理になっておりまして、

そのシステムですとか、情報の載せかたというのは、なかなか小回りが利いた対応というのが難しいかもしれません。こちらで掲示等を考えている段階ですが、予約が入った段階で取消しになりますので、本当は電子的なものが相性がよいとは思っているのですが、できることを検討いたします。

利用者 最新の情報でいいと思うんですよ。その後に入った場合はしょうがないとしてね。まずここに掲示板というのもひとつの方法かもしれませんが、それはここに来ないと分からないと。それじゃ意味ないんですよ。電子通信で分かるような。

利用者 ホームページを見ていただくと分かるんですけど、その館その館独自のお知らせっていう欄があるんですよ。表にしなくても、使える日にちを載ければいいんじゃないですか。それは館独自で載つけられるはずですよ。

利用者 やり方は工夫すればできると思いますので、検討をお願いします。

利用者 館が独自に画面から入力して、別に光が丘を通さないで更新できるはずですよ。

利用者 もう1点あるんですけどね、食事コーナーありますね。前たしか、テーブルが5つあったと思うんですね。いま、4つなんですよ。

図書館 飲食コーナーのテーブルですか。

利用者 前は5つあったと思うんですよ。前から4つですかね。

図書館 正確なところは調べたいところですが、数は変えてないです。

利用者 飲食コーナーはいいんですけど、土曜日、日曜日は混むんですよ。そうすると、やっぱり座れない日もあるんですよ。あそこを時間的に、例えば3時以降に飲食しなくても座れるとか、そういう切り替えができないかっていうのがあるんですね。

図書館 飲食コーナーにつきましては、様々なかたからご意見をいただいています、今までにあったお話をさせていただきますと、はじめは飲食以外のかたも使っていていただくということで開放していたのですが、そうしますと、あその席が使いやすいようでして、色々なかたが座ってしまって、座っていることによって、飲食をしたいかたが、そちらをご覧になるとそのまま諦めてしまうということが多数あったので、専用席としたということがございます。何時の時間帯がよく使うかですとか、そういったことも含めて、あまり使われない時間帯のお話だと思うんですけども、色々、柔軟な対応はしたいと思

ってはおりますが、最初に席がいっぱいになってしまって、実際に飲食できなくて不満になられたかたが多数おられたという背景が元々ありますので、慎重な対応とさせていただきます。

利用者 全部をいっぺんに変えろとは言いませんから、例えば2つを、特に土曜、日曜は混みますから、大体、3時4時まで飲食する人はいないと思うんですよ。よしんば、2つくらい空いていますから、それは何とか入れると思うんですよ。座れると思うんですよ。あと2つは一般にですね。そういう時間的な区切りをつけて利用させるように。そうしないと、ご存知の通り、土曜、日曜はけっこういっぱいなんです。じゃあ、どこへ座ろうかと、ないんですよ。そうするとあそこが空いているんですよ。遊ばせておくのかと。そういう点から、気づきましたので。

それから、新聞について、読売とか練馬区の新聞がありますけれども、見ていると福島民報と福島民友があるんですよ。あれはお金を払っているんですか。

図書館 両方とも寄贈です。

利用者 あと、一般図書の分類がありますよね。例えば、科学とか小説分野、200番とか300番とか。この番号の図書がどこにあるか、この広い中で。ウロウロしなくちゃいけないんですよ。要するに200番、300番、日本文学とか、世界文学とか、この番号がどこにあるか棚を探さなくちゃいけないんですよ。図書館の人に聞いたら、ここにありますよと、通路の大きな柱のところに書いてあるんですけど、あれが見にくいんですよ。分類番号と棚の位置とが一致してないんですよ。例えば、400から500番となっているのが、どこにあるかという、提示されてないんですよ。4としか書いてないんですよ。それは意味をなさないだろうと思って、前に図書館の人に言いましたけど。そういう、広いとウロウロしちゃうんですよ。その辺をお願いしたいと思っています。

図書館 サインについては、もう一度見直しをかけさせていただきます。

利用者 最後なんですけど、わたしばかりですいません。図書消毒機がありますが、あれは何で設置したんですか。消毒する意味はあるんですかね。

図書館 皆さんで感覚の違いはあるかと思うのですが、清潔感のブームという

ものがありましたので、ニーズはあるかと思しますので、設置させていただいております。

利用者 昔の抗菌グッズみたいなね。ただ、それはおかしいと思うんですよ。そもそも、図書館というのは、みんな借りるんだから、当然、汚れるのは当たり前なんです。それを嫌だというのは、じゃあ遠慮してもらおうかと。逆に言えば、消毒機設置はいくらかかったんですか。金額は。安くはないと思うんですよ。そういう買うお金があったら、もっと別なところに使って、たしかにニーズはあるかもしれませんが、あくまでもごく少数だと思うんですよ。そしたら、例えば、わたしがニーズしたら、わたしが言ったものを買ってくれるんですか。そういう理屈になってしまいますよね。常識的に考えておかしいと思うんですよ。抗菌グッズは一時流行りましたが、あれは意味が無いと。図書消毒機がどれだけ消毒になったのかと、それだって科学的なデータがある訳でもないし。その人が汚れた手で触っている訳でしょう。トータル的に考えて意味がないから、お金を無駄遣いしているってわたしは思ったんですよ。その辺も適切に判断していただきたいなと。あくまで少数の人間があーだこーだ言ってきたって、それに応じることはないと思うんですよ。要は税金の無駄遣いをしていただきたくないと、そういうことです。

図書館 ご意見として承りました。ただ、こちらのほうにつきましても、色々な考えかたの方がいらっしゃいます。実際、書籍消毒機があることによって、もっと使おうというかたもいらっしゃいます。月間でいうと1,000件程度使われております。コンスタントに色々なかたに使われているという実績があります。ですので、考え方ということもございますので、評価につきましては、色々ご意見あるかと思います。

利用者 中にはそういう人もいるでしょう。まったくゼロってことはないと思いますけど、それに要望があったって、妥当かどうかということですよ。金を費やす必要があるのかという必要性ですよ。わたしは、ちょっと疑問を感じたんですよ。さっきも言ったように、じゃあ、わたしがこういう機械を設置してほしいと言ったら買ってくれるかっていうとアレでしょ。だけど、わたしがひとりの意見があるっていうのに含まれますよね。清潔、潔癖性を感じるなら、図書館に本を借りにくる必要はないと思うですよ。別なところで

本を買って読んでくれるといいんですよね。電車に乗ったってつり革とかさわるでしょう。それとどう違うのかと。その辺は、きちっとダメなものはダメと案内していいと思うんですよね。以上です。

図書館 ありがとうございます。

利用者 すいません。お金を使うってことの話の続きになってしまうと、わたしなんか言いにくいんですけども、視聴覚室にもしできたら、DVDだとか、そういうモニターがあって、映画とかが観られるのがあるといいんですけども。武蔵野市なんかにはそういうのがあって、どういう機会にわたし達が使いたいかなと思うと、本を読んだときにそれが映画になっていたりとか、映画の比較をしてとか、そういうことで何回かに一回は、映画を観たいっていうことがあるんですよね。話題の映画とか。そうすると、これを直す前は、フィルムみたいな。

図書館 スライドですか。

利用者 プロジェクター。

利用者 そうそう、プロジェクター。そういうのがあったんですけども、そういうのは今の時代アレで。例えば、お子さんの色々なときに使うこともあるかもしれないので、ここの部屋として、すごく大きいモニターでなくてもいいんですけども、そういうものがあったら、視聴覚室として使えるものとして使えるものって何ですか。

利用者 ここに昔テレビなかったですか。

図書館 リニューアル前のことは調べてみないと分からないのですが、テレビはないのですが、プロジェクター、DVDデッキ、プロジェクターを投影するスクリーンはございます。

利用者 あるんですか。

図書館 施設をお借りになるときに、部屋の設備の入っておりますので、申し込んでいただければ、お使いいただける形です。

利用者 DVDを持ってきて、それでそれを。どこにあるんですか。

図書館 鍵のかかるところに閉まってありますので、ご自由という訳にはいきませんが、はじめに申し込んでいただければお使いいただけます。

利用者 そしたら、モニターを使ってDVDを観ることは。

図書館 テレビではなく、投影するスクリーンがありまして、DVDデッキからプロジェクターを通じて投影する形になりますが可能です。

利用者 デッキもある訳ですか。

図書館 デッキもあります。

利用者 ああ、そうですか。それは使い方を教えてくださいませんか。

図書館 この懇談会の後にでも、事務室に来ていただければ、手続きの仕方も含めてお教えすることができます。

利用者 分かりました。

利用者 わたしもいいですか。ちょっと話がそれますが、今、そちらは第1月曜日だけが開館していますよね。これをできれば、第1、第3まで、本当は第2も第4も全部開館にしてほしいと思うんですね。というのは、どういうことかっていうと、わたしなんかはよく区報なんかで、これいいなと思って、どこであるんだろうと思うと、練馬駅のほうか石神井公園駅。で、うちはノーカーなのでバスなんです。そうすると成増町行きってというのは、20分おきくらいなんですよ。ですので、出たらまたいけないので、30分くらいみておいて、っていう感じで結局、この付近では、関町南3丁目でコミュニケーションができるような所ってというのは、他には知らないんですね。図書館で時にこうやって皆さんと読書会とか、コーラスとか色々そういう会があるかと思うんですが、できれば、もっと周りの人とのコミュニケーションとかを図りたい。それで、だんだんシニア世代が近くなると、例えば、立野の区民館へ行くのも、関町センターへ行くのも、青梅街道を渡ってとかっていうと、だんだん足腰が弱ってきて、だから南3丁目で、何かそういうコミュニケーションが図れるっていうとあり難いことにリニューアルされた図書館があるじゃないですか。できれば、第1月曜日だけではなくて、まず手始めに第3。それで良かったら、第2、第4と許せるなら、開いてもらえれば、例えば、健康の問題、あるいは防災のことについてとか、そういう講師のかたを招いて、そういうことも開けるんじゃないかと思うんですね。特にわたしも今、こないだ激しい台風が来たときにどこへ逃げていいものか、いや中学校は違うんでしょうね、と思うんです。中学校は、怪我をした人が非難するところってチラッと聞いたことがあるんですね。だから、立野小学校まで行かないといけ

ないっていうのを聞いたことがあるくらいで、本当の地域の防災とかの知識も恥ずかしながらはつきりしてない状態ですし、そういうことは例えの話で、いろいろとここが開いているよっていうことになる、皆さんいろいろとコミュニケーションが図れるし、幼児を連れてでも、南3丁目のかたも気軽に立ち寄れる場所として、是非そういう声を上げていただきたいと思います。

図書館 こちらのについては、休館日のお話になりますので、これも館独自で決められない内容になっております。練馬区立図書館につきましては、どの館でもですけども、月1回どこかの週で開館するという形で運営をさせていただいております。関町図書館は、バランスですとか、地域性も含めて第1月曜日を開館するということで決まっているものになっております。ですので、練馬区立図書館の方針として、全館ですね、月曜日どうするかというお話になってきますので、ご意見として承りまして、光が丘図書館へ上げさせていただく形を取らせていただければと思います。

利用者 特にこの近くでコミュニケーションを図るところがないんですよね。ちょっとあっちへ行くと立野区民館あり、こっち側へ行くと関町の千川上水のところに関町4丁目になるんですかね、あそこに大きいのがあったり、何かいろいろなマンションの集会所が使えたりとか、いろいろ聞くんですけど、この辺りの人って何にもないんですよ。

利用者 それは練馬区の行政の話であって、図書館の話じゃないでしょう。

利用者 ということは、ここから上げてもらうということにはならないんですかね。

図書館 こういったご意見がありましたというのは、上げることができます。ですが、あくまで図書館の懇談会として上がった意見として出す形になります。

利用者 それで結構です。

図書館 では、そういった形でさせていただきます。ありがとうございます。

利用者 先ほど、こちらのかたが、福島の新聞を置いてあるっていうことで、わたしとしては、どうして置いてあるかっていうことを、前に熱海の図書館に行くことがあって、熱海の図書館にも福島新聞が置いてあるんですね。で、わたしはそれをすごく良い意味でとらえて、福島の人たちのことを忘れないっていうかね、そういうことで、福島新聞っていうのを皆で忘れないで、いつも頭においてっていうことで、好意で置いてあるのかと思ったら、福島新聞っ

ていうのは、寄贈される訳ですか。

図書館 寄贈で受けております。

利用者 だから、あれは東日本大震災で避難してきたじゃないですか、各地に。それで練馬区にも来ているから、そういう人たちのために情報っていうことで民報とあれを取った訳ですよ。

利用者 わたしもね、寄贈なら構わないと思っているんですよ。ただ、金を出すとそれだけの理由付けを考えなくちゃならないと思ったから、寄贈なら構いませんよと。

利用者 だけど、寄贈じゃなくても避難している人がいる訳だからっていう考慮もあってもいいと思うんですよ。

利用者 寄贈でなければ、何で金を払う必要があるのかと思うんですよ。福島の人たちは避難している人はいるでしょうけど、新聞なんかで補えるものじゃないですよ。今は情報のメディアがあったりしていますから、そちらで充分補えるものであつて。

利用者 いやいや、だけど福島のほうの原発とかああいう情報が福島の民報とかああいう両新聞にしか載らない記事もありますよ。

利用者 それは分かりません。

利用者 ありますよ。全国ネットじゃないやつが。

利用者 わたしはね、有料で購読するならおかしいと思います。無料ならね、寄付ならどうぞと思いますけど。今さら、6年前のことをどうのこうの言う時代じゃないですわな。

利用者 それは言い過ぎでしょう。

利用者 いやいや、福島に手当もされているのにね、それはまだ、それはたしかにかわいそうですけど、それをいろいろ行政とね。

利用者 いや、手当がないから皆文句を言っているんですよ。

利用者 手当は保障されているでしょう。

利用者 だから、保障してないから。

利用者 保障されているんですよ。

図書館 ご意見、様々あるかと思うのですが、図書館としましては、皆さん言っていたことが事実でありまして、震災の際に、避難されているかたがこ

のあたりに来られているということで、その際に、ご寄贈いただけるという申し出がありまして、ご寄贈いただいているものです。購入するということであれば、何からの検討ですね、会議を開いてそれなりの判断があって購入することになったかと思うのですが、ご寄贈いただけるということだったので、スムーズに入れることができたということです。

利用者 まだ、改装前のことね。新聞をいつも見ているときに結構見に来ている人がいました。あれを特に。特に見に来ている若い人が。

図書館 寄贈ですので、そのまま入れることができております。

利用者 じゃあ、九州から来ている人たちもね、熊本の新聞がほしいというのがいくらでも出てくる訳でしょう、これから。何で福島だけなのかと。そういう矛盾もありますよね。わたしは、あくまで寄贈だからいいでしょうということのことであって、金を払うとなると別問題ですから、あくまで寄贈ならば、どうぞというだけです。

利用者 いいんですか、他のかた。

利用者 施設のことで2つ要望があります。まずひとつは、先ほど荷物置き場のことでお話がありましたけれども、わたしもひとつエントランス付近にちょっとした台でいいですので、あるといいなと常々思っております。その理由は、貸出カウンターのところ、借りたあと、袋に入れたいんですけれども、後ろにいらっしゃると、とりあえず手で抱えて、その借りた本を袋に入れたいと思うと椅子はあるんですけれども、椅子にたくさん座ってらっしゃると立ったまま不自然な格好で、CDとかあったりするとケースを割らないように気をつけながらやっているんですけれども、エントランスのところにブックディテクションがあって寄贈本がありますよね、コーナーが。あの後ろあたりが空いているので、あのへんに荷物を置いて、本を整えられる場所があったらいいなと思います。これはひとつココの場所と思っただけで、その場所でもなくてもいいんですけれども、帰るときに本をきちんと鞆の中に入れて帰れるような棚を設けていただけたら嬉しいと思っています。

もうひとつは、非常口なんですけども、ここの視聴覚室の普通ですと、出入口のところによく非常口の何ていうんですか、緑色の足を上げている看板、劇場では必ずあるんですけれども、わたし達はブックスタートの説明の

ときに地震のときはこうしますという案内をして、そこから出るというようなことを説明しています。また、ブックスタートも昼間ですから、明るいからいいんですけども、夕方とかになって停電になったときに、さてどこに行ったらいいのかといったときに非常の印ありますよね、あれがあると、あそこから出ればいいんだなということが一目瞭然ですので、お金がかかって大変かもしれないですけども、ちょっとそののところにあったらいいなと今、思いました。

あと、お礼ですけども、図書館のところに郵便ポストができて、とても助かっています。今まであったところが、お店があったところがポストがなくなってしまうと、探していたんですけども、出来たので嬉しく思っています。また、公衆電話があそこにあって、撤去されているのが多い中で、ぜひあれも守っていただければと思います。よろしくお願いいたします。

あと、窓口の接遇は、とても感じが良くて、いつも気持ちよく利用させていただいていますので、皆さんにもそのことをお伝えいただけたら嬉しく思います。以上です。

図書館 ありがとうございます。何点かのご意見とお褒めの言葉をありがとうございます。まず、エントランスの物置き台については、そういった利用者さんの動きがあるということで、貴重なご意見だったかと思います。何かしら、検討できるところを考えたいと思います。ありがとうございます。

非常口につきましては、法令上の関係もあるかと思います。再開館時にチェックされているものになりますので、問題ない状態かと思います。しかし、分かりにくい等があると問題がありますので、掲示になるのか、あるいは、スタッフから確実に誘導するのか、そのあたりについて、出来ることと、どういう状況になっているか調べたうえで対応させていただければと思います。ありがとうございます。

利用者 いいですか。ご存知かどうか知らないんですけど、ここ2階ですよ。その上にまだ1階があって、そこに管理人みたいなのが常駐していたんですよ、昔。

利用者 となりですか。

利用者 一度使っているときに、上から出入り口から出て、そちら知らないんですけど

れど、駐車場のところに車1台、その人専用、停めていて。いつも裏側から上に上がっていたんですよね。本当にそれがそれですかね。

図書館 改修以前には、グループ学習室と会議室が続き部屋になっていまして、住み込みの管理人さんがそこにいらっしゃったと伺っております。

利用者 分かりました。それはいいです。それと、最近の地震のニュースで見ると、北海道なんかで電源が来なくて、スマホかなんかで行列をしたって言っていますよね。それで、そういうことがあったときに発電しているじゃないですか。あれで、USBのコードなんて知れたものだから、100本、200本単位とかね、そういうもので用意して置いておいてくれませんかね。したほうがいいと思うんですよ。電源がブラックアウトになることが証明されたじゃないですか。停電にならないっていう保障は何もないんですよね。だから、ああいう行列ができる恐れがあるから、各所でね。図書館で充電できると思ったら、皆、来ますよね。そうした時に対処するために、コードをいっぱい用意してUSBのハブみたいなのも用意して、そうすれば、50人、100人くらい一気に充電ができるような態勢が整えられますからね。行列しなくても。そのコードさえあれば。こちらでやっているかどうか知りませんが、震災の対策でね、防災対策で、訓練みたいなのをやっている一連のなかに組み込んでもらってもいいし。そうしたときにどうやって提供するかとか。こういうのを外に持ち出して置いてやらせてみるとか。そういった細かいことまで訓練しておけばいいと思うんですよね。せっかく、太陽光で発電しているものがある以上。それは、ここに限らず、南田中も発電しているから、この話は区の問題で取り扱ってもらえれば結構なんですけれども。それは、一応上げてもらうってことでいいですか。

図書館 はい。ありがとうございます。

利用者 ひとついいですか。こないだCDを借りたんですよね。CDを借りて返すときに10曲入っていたCDなんですけれども、最後の3曲目にどうしても音飛びがあって聞けなかったんですよ。それでしょうがないから返して。そうしたら、必ず受付のかたが聞きますよね。音飛びどうですか。8、9、10が飛んで聞けませんでしたって言ったんですけれども。きっと前の人も同じことを言っていると思うんですよ。そのメンテナンスはどのように行ってい

るのでしょうか。

図書館 C Dの状態というのが、私どもとしても懸念事項としてございまして、実際に細かいキズが付いていたりします。研磨できる機械がございまして、こちらのほうで直せますので、ある程度のところまでは直すというメンテナンスになっております。実際のチェックですけれども、申告があったものにつきましては、チェッカーがございまして、例えば、これにつきましては、きれいに聴ける状態です、あるいはちょっとキズがありますが聴けますという具合にパソコン上でAとかBとか判定ができる機械でチェックをします。申告があったものについては、実際に聴いてみることもしまして、音飛びが確認されたものについては、研磨できれいにして、その後もチェックをかけまして、聴けるかという形で元に戻すような対応をしております。キズが深いと直らなくなってしまうこともございますので、その場合には、資料として提供不可のものと、提供はしますが注意書きで対応するものとふたつの対応としております。

利用者 僕が借りたのは何だったんでしょうね。そちらでチェックして問題ないってことで貸出したんですかね。

図書館 前のかたが必ず申告してくださるとは限らないということと、もうひとつが、借りたけど聴かずに返してしまうというかたもいらっしゃいます。どこでキズが付くかは分からないんですけれども、大変申し訳ないのですが、借りる前からキズが付いているものがあることがございます。

利用者 僕が借りたものはメモしていたから、そちらでメンテナンスはされているんでしょうね。

図書館 そういった申告があったものは必ず確認をしています。試聴も含めて対応しております。

利用者 そうですか。承知しました。

利用者 ひとつどういう風になっているのかを伺いたいんですけれども。休日に本の返却に来ますと、ここは終日、無人なのかなって思うんですけど、そういう風なときの体制というのはどうなっているのですか。

図書館 休館日につきましては、職員は出勤しております。人数は少ないですけれども、休館日でないとできない作業等もございますし、建物関係の例えば、工事業

者ですとか、何かしらのチェックですとか、そういったものは休館日でないとできませんので、そういった業者の対応をおこなっております。休館日に職員が全く出ていないということではございません。

利用者 細かいことですが、データベースのメニューで話あがっていますかね。メニューのところ。アイコンを追加してくれっていう話。男性のかたに言ったんですが。聞いていますか。メニューを。

図書館 そちらに関しては、改めて詳細を伺ってもよろしいでしょうか。

利用者 おそらく、システム更新のときに入れ替えると思うんですよ。それに合せてやってもらうと手っ取り早いと思うんですよね。管理者権限で入って、変更したときに再起動すれば、反映される、それだけのことなんですよ。ふつうに変更して再起動しても元に戻っちゃうから。単にそれだけの話です。

図書館 メニューバーの話ですよ。

利用者 そう。メニューを追加してくれっていう話。

図書館 オンラインデータベースが置いてあるのが、光が丘図書館と関町図書館だけになるのですが、光が丘図書館にはあるメニューということでよろしいでしょうか。

利用者 それは、光が丘図書館に言って改善してもらいました。

図書館 光が丘図書館にはあるメニューということでよろしいでしょうか。

利用者 そうそう。

図書館 同じメニューを関町図書館にも入れるということでよろしいでしょうか。

利用者 同じっていうか、フラッシュっていうんですけど、あれがあれば、もう全てカスタマイズすれば、出来るようになっているんですよ。裏で設定画面開いてポチポチってやれば。反映します。

図書館 一度確認させていただきます。

5 関町図書館長挨拶

本日は、いろいろ貴重なご意見ありがとうございました。今後とも頂いたご意見を参考にさせていただいて、出来ることを順次行って、運営していきたいと思っております。本日は、本当にありがとうございました。